

西宮市下水道事業経営戦略に基づく取組みの評価〈令和元年度（2019年度）〉

【第4章 推進施策と主な取組み】（西宮市下水道事業経営戦略 P.15～22）

指標	算式	達成率等			検証	評価
		H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R10年度 (目標値)		
1. 浸水対策・雨水整備						
10年確率降雨対策施設整備率 (%)	雨水整備事業投資済み事業費/雨水整備事業総事業費×100	10.8	13.7	34.4	合流貯留管の段階的整備による供用開始に向けて工事を進めており、令和2年度から完成した一部区間の供用を開始する。	A:順調
オンサイト貯留施設整備済み箇所数 (箇所)	オンサイト貯留施設整備済み箇所数	59	60	70	計画どおりに実施できている。 なお、令和元年度は、名塩小学校にオンサイト貯留施設を整備した。	A:順調
2. 合流式下水道の改善						
きょう雑物削減のためのスクリーン目幅を縮小した施設数 (施設)	きょう雑物削減のためのスクリーン目幅を縮小した施設数	18	20	24	計画どおりに実施できている。 なお、令和元年度は、津門川ポンプ場の2スクリーンの目幅縮小を実施した。	A:順調
3. 高度処理						
高度処理事業進捗率 (%)	高度処理事業投資済み事業費/高度処理事業総事業費×100	30.8%	33.7%	47.4	甲子園浜浄化センター5系が概ね完成し、令和2年度から供用を開始する。 また、枝川浄化センター再構築事業の基本設計を進めることができた。	A:順調
4. 改築・再構築と維持管理の高度化						
管渠改善率 (%)	改善管渠延長(各年度)/管渠総延長×100	0.04	0.10	0.17	改築延長は予定どおり実施できている。段階的に事業費を増加し、管渠改善率は向上している。	A:順調
5. 地震対策						
施設耐震化率 (%)	耐震化済み施設数/耐震化が必要な総施設数×100	34.3%	37.1%	74.3	計画どおりに実施できている。 なお、令和元年度は、甲子園中継ポンプ場の耐震化を実施した。	A:順調
重要な幹線等の耐震化率 (%)	耐震化済み重要な管渠延長/耐震上重要な管渠総延長×100	57.1	57.2	57.6	劣化度に応じて緊急性の高い管渠の耐震化を優先して実施し、順調に耐震化を進めることができている。	A:順調
7. 市民と共に歩む下水道						
水洗化率 (%)	水洗化人口/処理区域人口×100	99.8	99.8	99.9	継続的な啓発活動により、少しずつではあるが、未接続の解消が進んでいる。	B:概ね順調
8. 健全な下水道経営に向けて						
企業債償還元金対減価償却比率 (%)	企業債償還元金/(当年度減価償却費-長期前受金戻入)×100	169.3	153.4	72.6	昨年度実績から改善しており、順調である。	A:順調
企業債残高 (千円)	企業債残高	59,039,537	58,293,532	55,601,685	昨年度実績から改善しており、順調である。	A:順調
一般排水資本費にかかる基準外繰入 (千円)	一般排水資本費にかかる基準外繰入	770,000	750,000	0	昨年度実績から改善しており、順調である。	A:順調
流動比率 (%)	流動資産/流動負債×100	62.3	67.3	129.7	昨年度実績から改善しており、順調である。	A:順調
企業債償還元金対使用料収入比率 (%)	企業債償還元金/使用料収入×100	132.5	119.4	54.9	昨年度実績から改善しており、順調である。	A:順調

評価について

- A「順調」：問題なく進展している
- B「概ね順調」：具体的な成果は出ていないが協議や調査などを進めている、または計画期間終了までに目標を達成できる見込みである
- C「遅れている」：進展が見られない、または計画期間終了までに目標を達成できる見込みがない

【第5章 投資・財政計画】（西宮市下水道事業経営戦略 P.23～27）

(1) 収益的収支

(千円/税抜き) ※数字は四捨五入しているため項目の合計は一致しない場合がある

項目	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)		令和2年度 (2020年度)	増減理由 投資・財政計画との差が10%以上の項目 または特筆すべき事項(1,000万円未満は除く)	検証・評価
	[決算]	[計画]	[決算]	[計画]		
収益的 収入	営業収益	8,103,709	8,176,361	8,047,728	8,152,075	-
	下水道使用料	5,429,251	5,403,025	5,371,975	5,365,040	
	雨水処理負担金	2,413,981	2,487,627	2,415,538	2,500,753	
	他会計負担金	223,636	247,894	222,898	250,180	不明水処理経費等が減少したため
	その他の営業収益	36,841	37,815	37,318	36,102	
	営業外収益	3,894,965	3,888,667	3,969,660	3,560,705	-
	受取利息	4	3	1	3	
	国庫補助金	252	1,000	134	1,000	
	他会計補助金	1,358,586	1,339,445	1,311,892	865,869	
	長期前受金戻入	2,496,106	2,526,461	2,568,649	2,672,075	
	雑収益	40,018	21,758	88,985	21,758	賠償金などその他雑収益が増加したため
	特別利益	23,331	82,349	83,048	500	
	収入計 (A)	12,022,005	12,147,377	12,100,437	11,713,280	-
	収益的 支出	営業費用	9,627,786	9,955,996	9,669,330	10,145,610
管渠費		223,711	234,614	217,193	235,403	
ポンプ場費		523,674	523,153	487,284	517,398	
処理場費		1,702,516	1,834,193	1,692,316	1,822,803	
流域下水道維持管理負担金		450,218	449,373	453,139	453,055	
業務費		256,702	263,751	258,518	266,183	
総係費		322,086	256,762	281,976	272,417	
減価償却費		6,050,833	6,116,191	6,072,222	6,380,444	
資産減耗費		98,045	277,959	206,682	197,907	除却資産が減少したため
営業外費用		1,252,740	1,150,631	1,128,686	1,090,377	-
支払利息		1,174,555	1,100,093	1,039,629	1,029,731	
長期前払消費税額償却		39,190	50,538	49,907	60,646	
雑支出		38,995	0	39,150	0	
特別損失		11,816	1,851	0	1,818	
予備費	0	1,818	0	1,818		
支出計 (B)	10,892,342	11,110,296	10,798,016	11,239,623	-	
収益的収支差引額 (A-B)	1,129,663	1,037,081	1,302,421	473,657	-	

雨水処理負担金などの収入が計画より減となっているが、処理場費などの支出の減が、収入の減を上回ったことにより、計画を上回る利益を確保できた。

(2) 資本的収支

項目	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)		令和2年度 (2020年度)	増減理由 投資・財政計画との差が10%以上の項目 または特筆すべき事項(1,000万円未満は除く)	検証・評価	
	[決算]	[計画]	[決算]	[計画]			
資本的収入	企業債	3,784,800	3,922,800	4,628,700	3,888,600	-	
	公共下水道事業債	2,706,300	3,051,500	3,744,000	3,126,400	起債対象事業費が増加したため	
	流域下水道事業債	78,500	71,300	84,700	62,200	起債対象事業費が増加したため	
	資本費平準化債	1,000,000	800,000	800,000	700,000		
	その他	0	0	0	0		
	国庫補助金	2,691,774	2,972,500	3,863,769	2,981,585	国庫補助対象事業費が増加したため	
	他会計補助金	523,198	334,257	334,092	259,794		
	工事負担金	18,360	12,526	41,438	12,528	県工事負担金が増加したため	
	長期貸付金返還金	675	2,195	846	2,195		
	基金運用収入	0	100	0	100		
収入計 (a)	7,018,807	7,244,378	8,868,845	7,144,802	-	支出の建設改良費が増加し、財源である収入の企業債や国庫補助金も増加したため、資本的収支差引額はほぼ計画値となった。	
資本的支出	建設改良費	5,820,032	6,411,170	8,023,799	6,538,530		-
	固定資産購入費	14,249	8,449	2,730	5,082		
	公共下水道整備費	5,594,570	6,209,219	7,820,333	6,337,356		工事請負費等が増加したため
	流域下水道等整備費	211,212	193,502	200,736	196,092		
企業債償還金	6,017,401	5,375,293	5,374,705	5,341,016			
投資	1,555	10,700	0	10,700	-		
長期貸付金	1,555	10,600	0	10,600	水洗便所貸付申請がなかったため		
基金積立金	0	100	0	100			
予備費	0	2,000	0	2,000			
国庫補助金返還金	0	0	28,129				
支出計 (b)	11,838,988	11,799,163	13,426,633	11,892,246	-		
資本的収支差引額 (a-b)	△4,820,181	△4,554,785	△4,557,788	△4,747,444	-		

(4) 資金残高

項目	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)		令和2年度 (2020年度)	検証(増減理由) 投資・財政計画との差が10%以上の項目	評価
	[決算]	[計画]	[決算]	[計画]		
利益剰余金	1,214,467	1,736,866	2,024,293	1,632,152	-	当年度純利益が計画より増となったため、計画を上回る資金残高を確保できた。
繰越利益剰余金	1,157,967	1,684,966	1,959,093	1,608,452	-	
減債積立金	56,500	51,900	65,200	23,700	-	
建設改良積立金	0	0	0	0	-	
過年度損益勘定留保資金	0	0	0	0	-	
資金残高 合計	1,214,467	1,736,866	2,024,293	1,632,152	当年度純利益が増加したため	